

4. 3 自然環境

4. 3. 1 気象

対象市町は、瀬戸内式気候に属するため気候は温暖で、比較的少ない降水量となっている。

対象事業実施区域周辺には、図4. 3-1に示すとおり、熊取気象観測所及び末広公園測定局（自排局）がある。対象事業実施区域周辺における気象観測結果は表4. 3-1及び表4. 3-2に示すとおりである。降水量は年間約1,000mmから約1,800mm程度であり、平均気温は約16℃から約18℃程度、平均風速は2.1m/sから2.5m/s程度である。

また、各地点の風配図は図4. 3-1に示すとおりである。風向は、西よりの風の頻度が多い。

表4. 3-1 熊取気象観測所の気象観測結果

(標高68m)

年	降水量 (mm)	気温 (℃)			平均風速 (m/s)
		平均	最高	最低	
平成30年	1,750	16.3	36.1	-2.8	2.4
令和1年	1,380	16.4	36.1	-1.3	2.3
令和2年	1,535	16.5	35.4	-2.3	2.5
令和3年	1,638	16.4	34.6	-1.6	2.3
令和4年	1,023	16.5	36.7	-1.4	2.2
年平均	1,465	16.4	35.8	-1.9	2.3

出典) 「過去の気象データ検索」(気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/obd/s tats/etn/> 令和5年11月閲覧) より作成

表4. 3-2 末広公園測定局（自排局）の気象観測結果

(標高13m)

年	気温 (℃)			平均風速 (m/s)
	平均	最高	最低	
平成30年	18.4	37.8	0.7	2.2
令和元年	18.4	38.2	-0.3	2.1
令和2年	18.1	37.3	-0.3	2.4
令和3年	17.7	36.0	-0.2	2.3
令和4年	18.4	38.8	-1.1	2.2
年平均	18.2	37.6	-0.2	2.2

出典) 「2018年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」(大阪府 令和元年)
「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」(大阪府 令和2年)
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」(大阪府 令和3年)
「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」(大阪府 令和4年)
「2022年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」(大阪府 令和5年) より作成

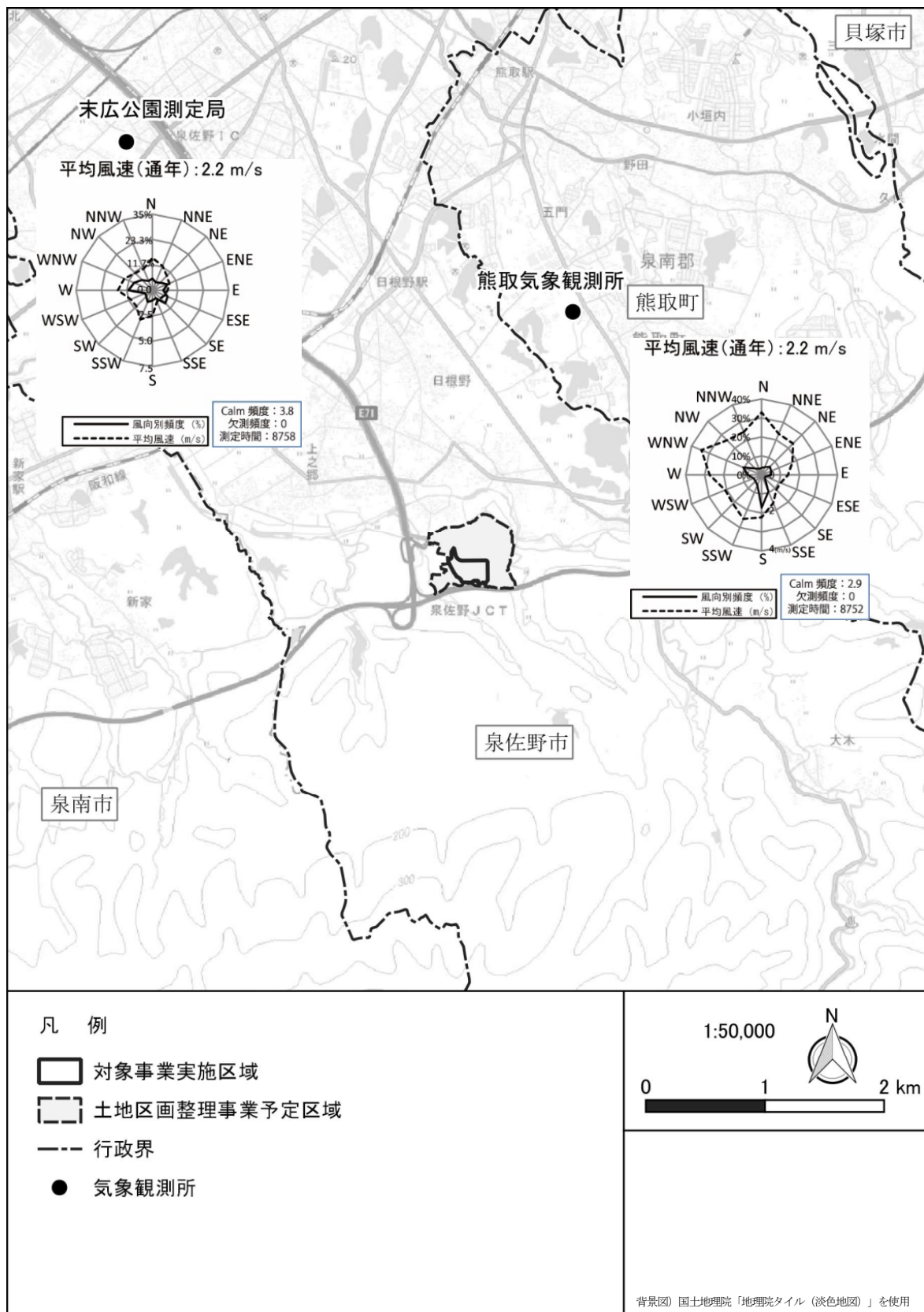


図 4. 3 - 1 対象事業実施区域周辺の風配図 (2022 年度)

4. 3. 2 地象

(1) 地形

対象事業実施区域周辺における地形分類は、図4. 3-2に示すとおりである。

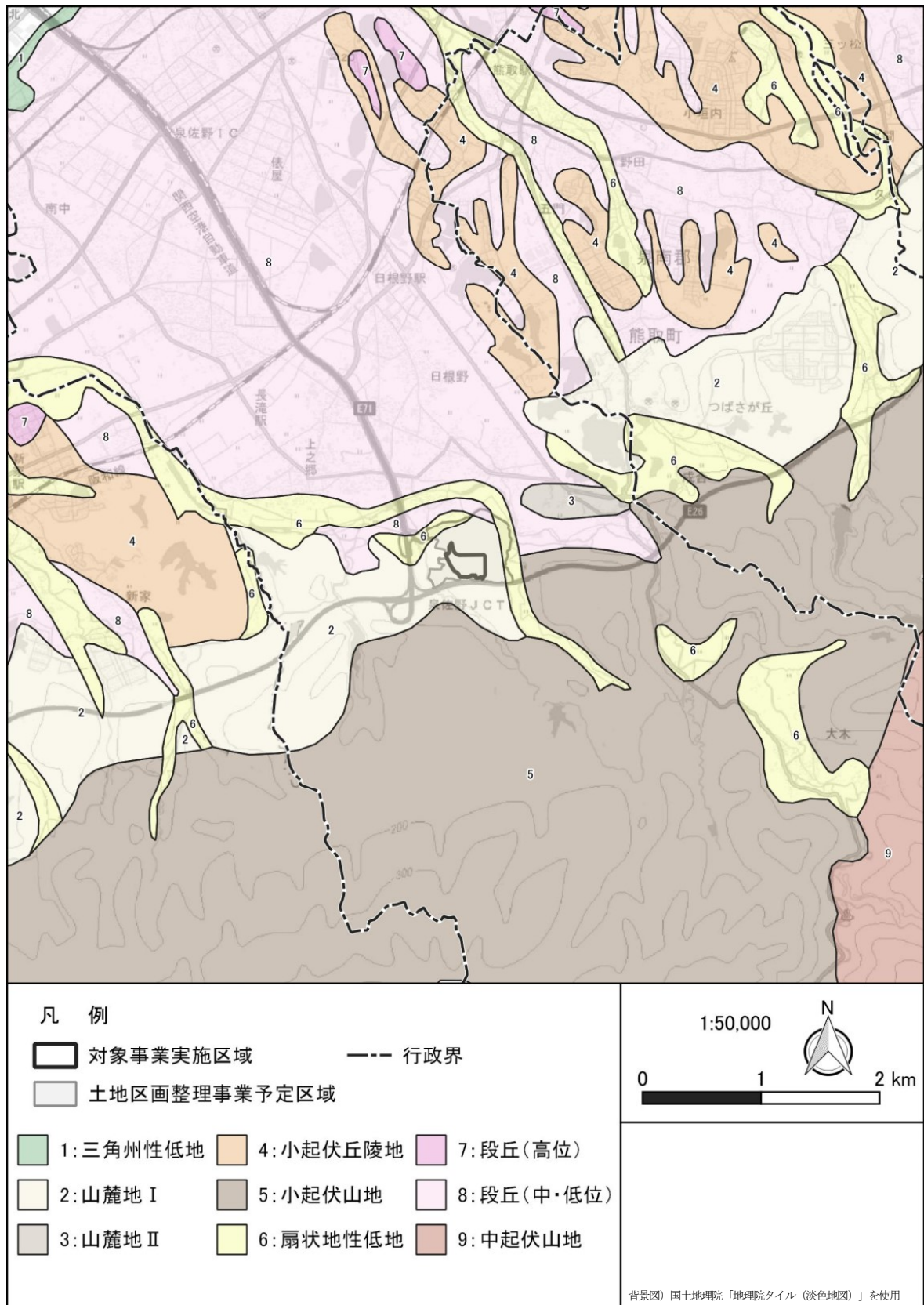
「土地分類図（大阪府）」（昭和51年 国土庁土地局）によると、対象事業実施区域は起伏量100mから200mの山地縁辺部にある急斜面にあたる山麓地Ⅰとなっている。周辺の主な地形としては、対象事業実施区域周辺は小起伏山地、段丘（中・低位）、樫井川の流域周辺は扇状地性低地がみられる。

また、「大阪府レッドリスト2014」（平成26年 大阪府）によると、表4. 3-3及び図4. 3-3のとおり、対象事業実施区域周辺における保護上重要な地形として和泉層群の化石産出層準が確認されている。なお、「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版」（平成12年 古今書院）における保護上重要な地形はみられない。

表4. 3-3 対象事業実施区域周辺における保護上重要な地形

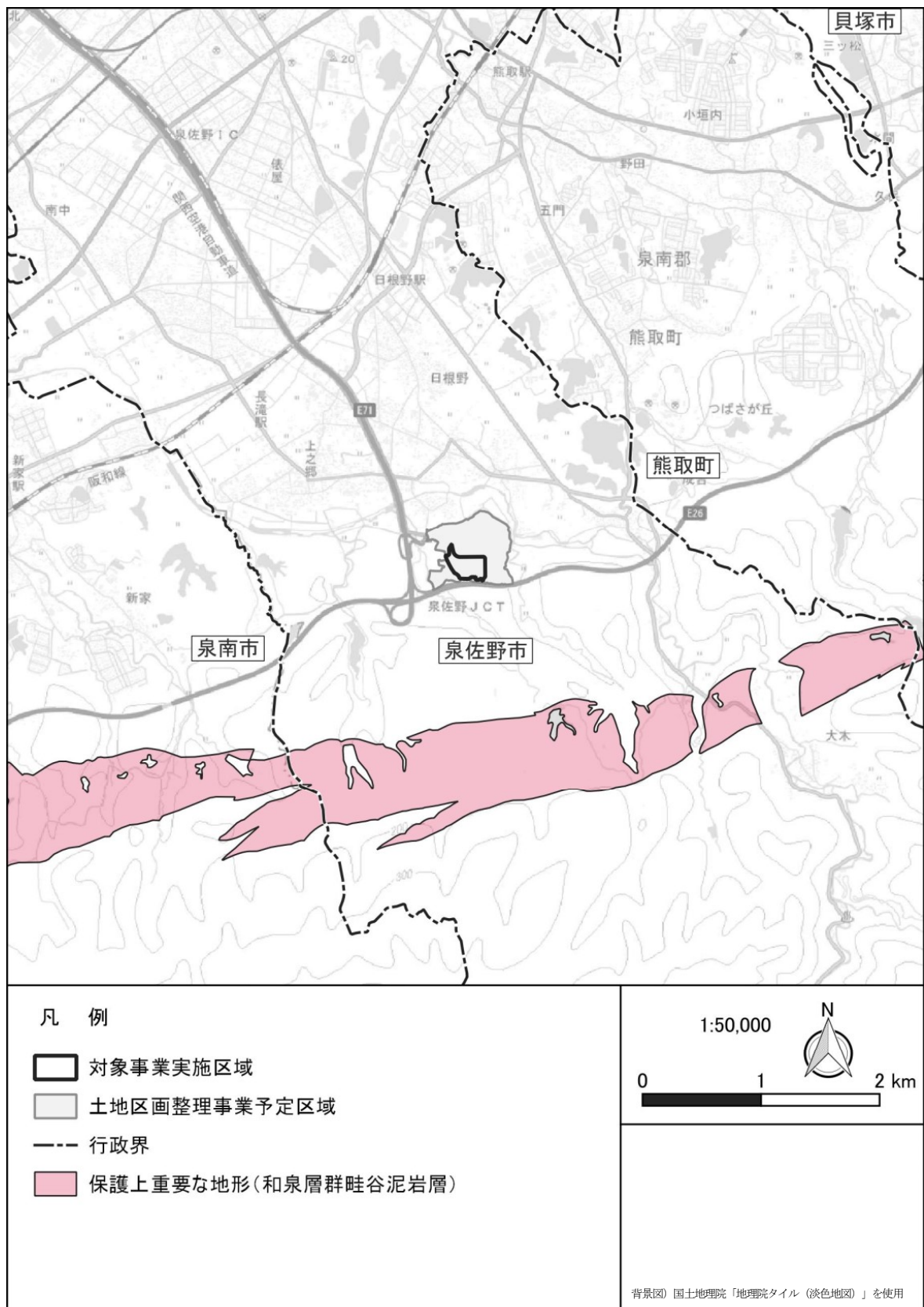
ランク	名称	地域	地層・岩体名	時代	選定要素
Aランク	和泉層群の 化石産出層準	泉南市、泉佐野 市、貝塚市	和泉層群畦谷泥岩 層（北縁層）	白亜紀	アンモナイト、モササウル ス、貝をはじめとする化石

出典）「大阪府レッドリスト2014」（平成26年 大阪府）より作成



出典) 「国土調査(20万分の1土地分類基本調査)」(国土交通省ホームページ https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/landclassification/land/l_national_map_20-1.html 令和5年11月閲覧)より作成

図4. 3-2 地形分類図



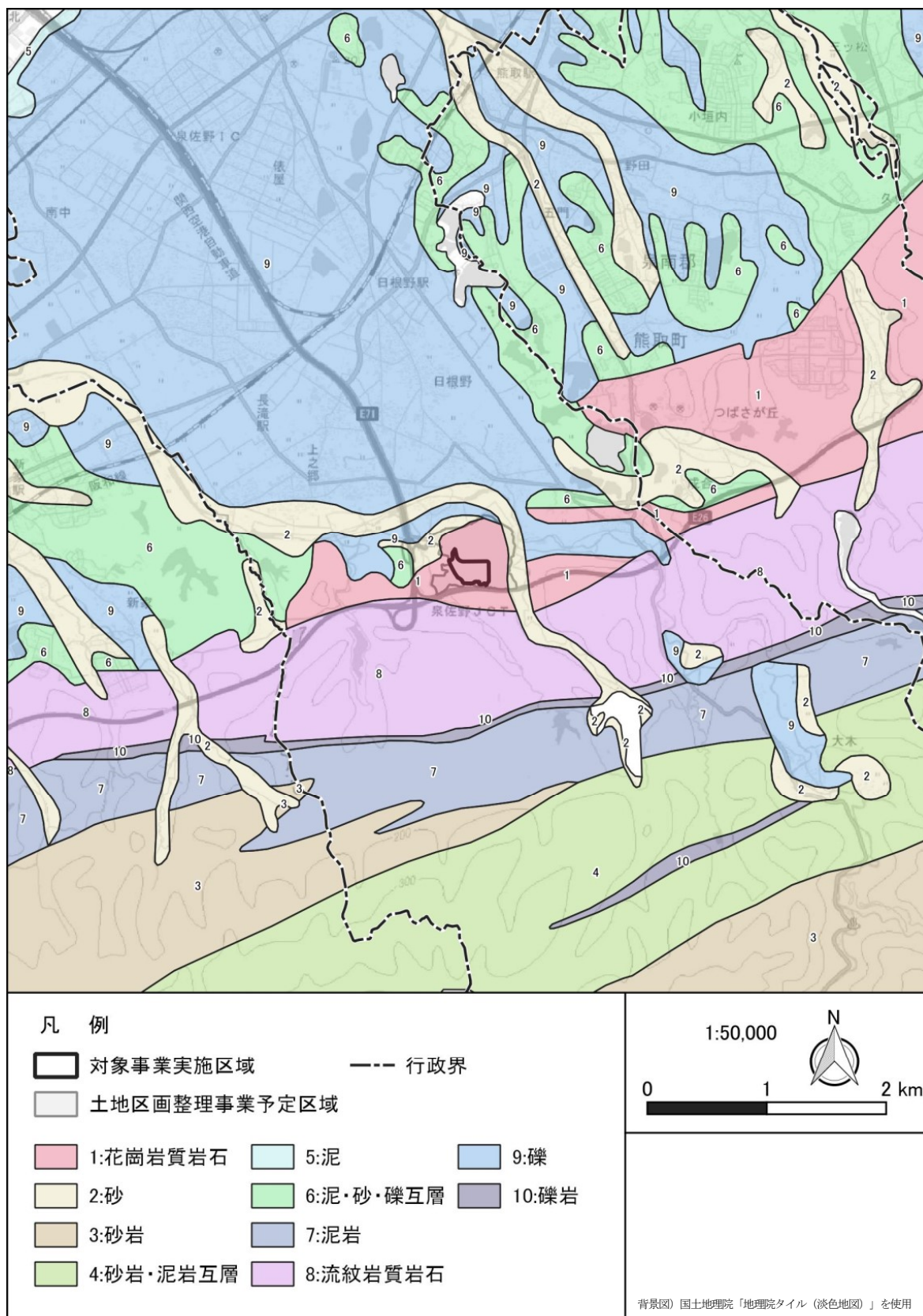
出典) 「5万分の1地質図幅「岸和田」GISデータ」(産業技術総合研究所地質調査総合センターホームページ <https://gbank.gsj.jp/datastore/> 令和5年11月閲覧)をもとに加工して作成

図4. 3-3 対象事業実施区域における保護上重要な地形

(2) 地質

対象事業実施区域周辺における表層地質は、図4. 3-4に示すとおりである。

対象事業実施区域は花崗岩質岩石となっている。また、周辺の主な地質として、対象事業実施区域周辺は砂、泥・砂・礫互層及び流紋岩質岩石、檜井川の流域周辺は砂からなっている。



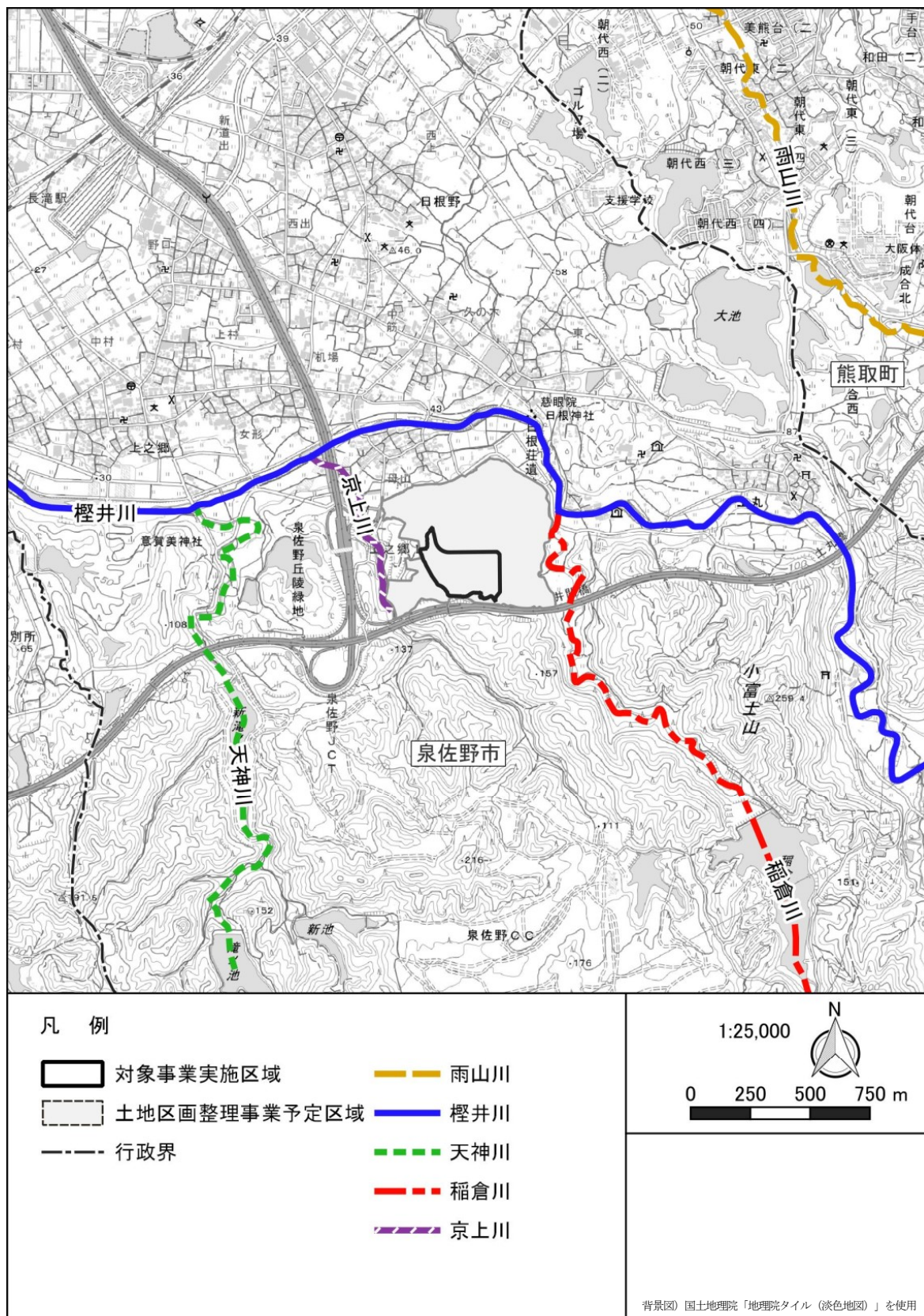
出典) 「国土調査 (20万分の1 土地分類基本調査)」 (国土交通省ホームページ https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/landclassification/land/l_national_map_20-1.html 令和5年11月閲覧) より作成

図4. 3-4 表層地質図

4. 3. 3 水象

(1) 河川

対象事業実施区域周辺における二級河川以上の河川は、図4. 3-5に示すとおりであり、対象事業実施区域周辺には檜井川がみられる。檜井川は和歌山県紀の川市の山中を水源とした二級河川で、流域面積59.56km²流路延長約24.9kmである。また、檜井川に合流する河川として、稲倉川、京上川及び天神川がみられる。



出典) 国土地理院「国土数値情報」(国土交通省ホームページ <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/> 令和5年11月閲覧)をもとに加工して作成

図4. 3-5 河川の状況

4. 3. 4 生態系

(1) 陸生動物

対象事業実施区域を含む泉南地域における陸生動物の確認状況は以下に示すとおりである。

哺乳類は、市街地や里山環境を生息地とするアブラコウモリ、ニホンノウサギ、タヌキ及びキツネ、山林環境を生息地とするテン及びニホンリス等が確認されている。

鳥類は、市街地や里山環境を生息地とするムクドリ、セグロセキレイ及びホオジロ、樫井川やため池等の水場を採餌地とするサギ類、コガモ及びカワセミ、山林環境を生息地とするメジロ、アカゲラ、ヤマガラ及びキビタキ等が確認されている。

爬虫類は、水田や里山環境を生息地とするイシガメ、ニホンカナヘビ、ニホンヤモリ、ヤマカガシ、シロマダラ及びヒバカリ等が確認されている。

両生類は、水田や里山環境を生息地とするアカハライモリ、ヌマガエル及びニホンアマガエル、山地の水辺や林床環境を生息地とするヤマトサンショウウオ、ニホンヒキガエル及びカジカガエル等が確認されている。

昆虫類は、里山環境を生息地とするアブラゼミ、クマゼミ、アオスジアゲハ及びツマグロヒョウモン等が確認されている。

以上のように、陸生動物は北部の平野・台地部に広がる里山環境、南部の和泉山脈の山麓に広がる山林環境を主な生息地としている。

出典) 「自然環境保全基礎調査動物分布調査 日本の動物分布図集」(環境省自然環境局生物多様性センター 平成22年)
「平成25年度 「いきものみつけ」事務局運営業務報告書」(環境省自然環境局生物多様性センター 平成26年)
「大阪市立自然史博物館 自然の情報コーナー」(大阪市立自然史博物館 <http://www2.mus-nh.city.osaka.jp/learning/G2e.html> 令和5年11月閲覧)
「樫井川水系河川整備計画」(大阪府 平成28年)より作成

（２）陸生植物

対象事業実施区域周辺の植生の状況は図４．３－６及び図４．３－７に示すとおりである。

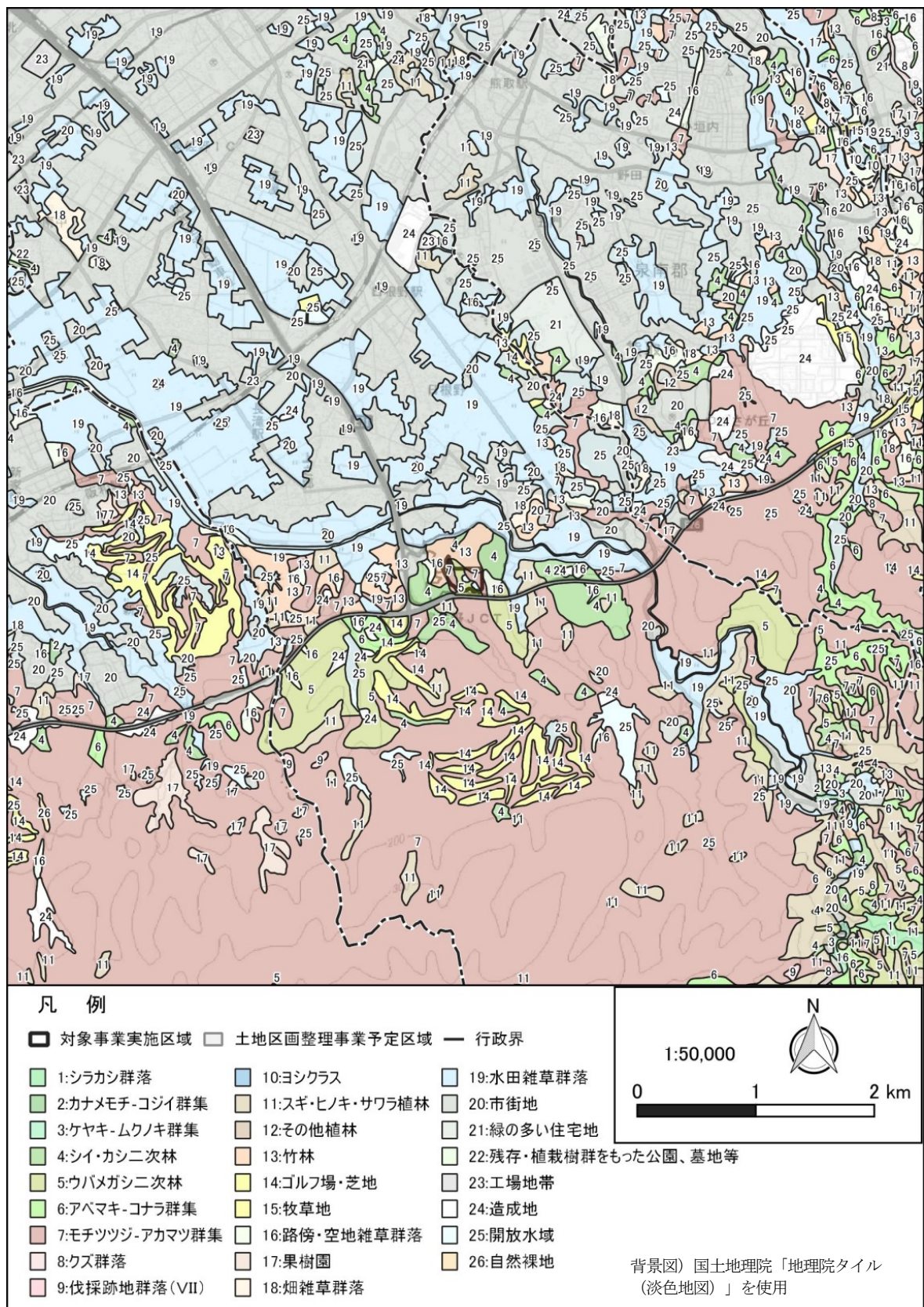
対象事業実施区域周辺は和泉山脈北部の山麓地であり、モチツツジ－アカマツ群集、シイ・カシ二次林、スギ・ヒノキ・サワラ植林が分布する。また、対象事業実施区域北部の平地・台地には樹林地はみられず水田雑草群落や畑雑草群落が広く分布し、沿岸部に向かうにつれ市街地が多く分布する。

植物相は、対象事業実施区域周辺において、湿地や溜池などに生育するサワヒヨドリ、オギノツメ、ヒメシロネ及びミゾハコベ、樹林地や山麓に生育するササユリ、ノシラン及びフモトシダ、周辺における木本類としてミミズバイ、マンリョウ、ヤマモモ、ヤブニッケイ、トベラ及びクロガネモチ等が確認されている。

出典) 「自然環境保全基礎調査 植生調査」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText 令和５年11月閲覧)

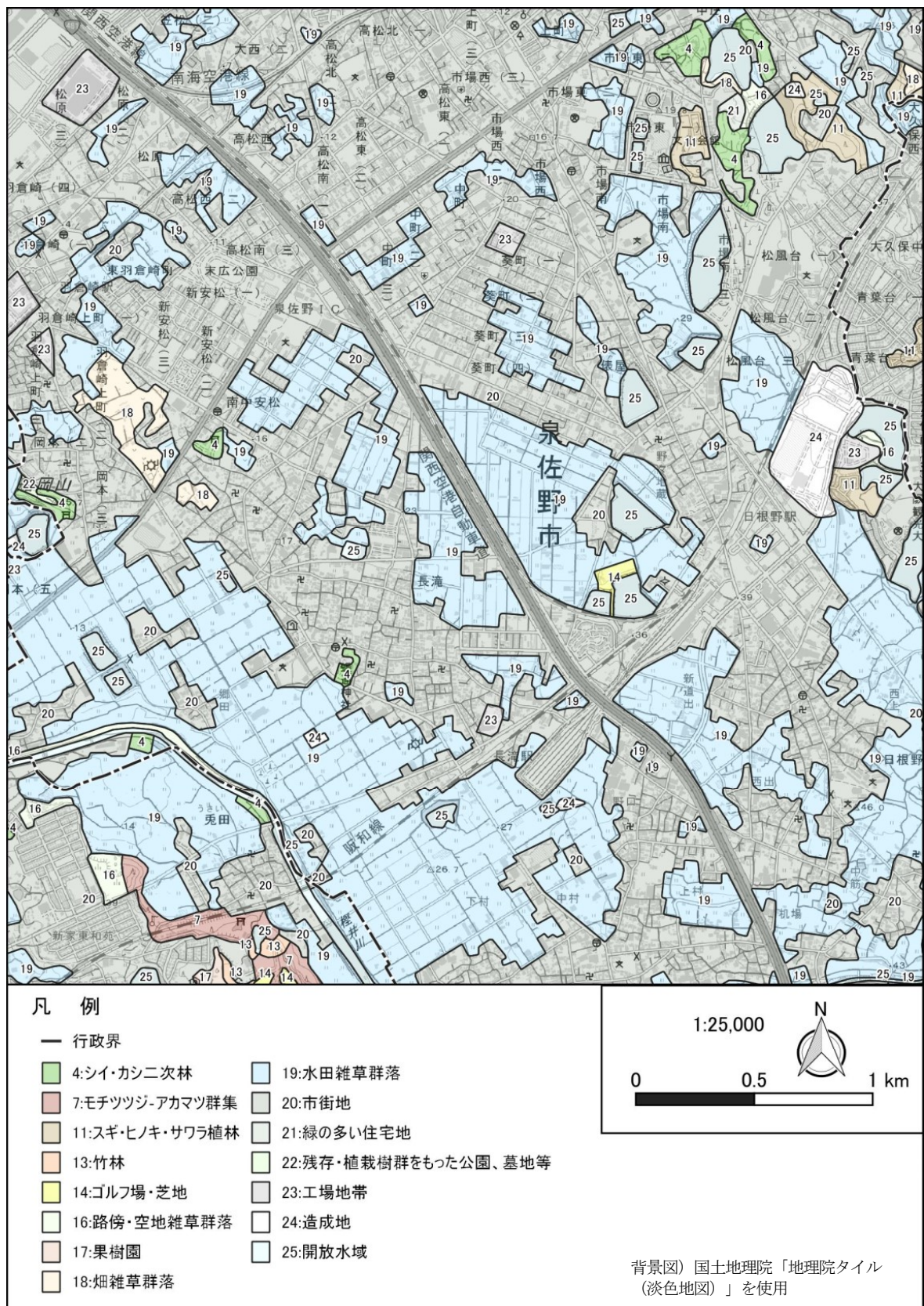
「泉佐野市の植物」(清水千尋 昭和54年)

「樫井川水系河川整備計画」(大阪府 平成28年)より作成



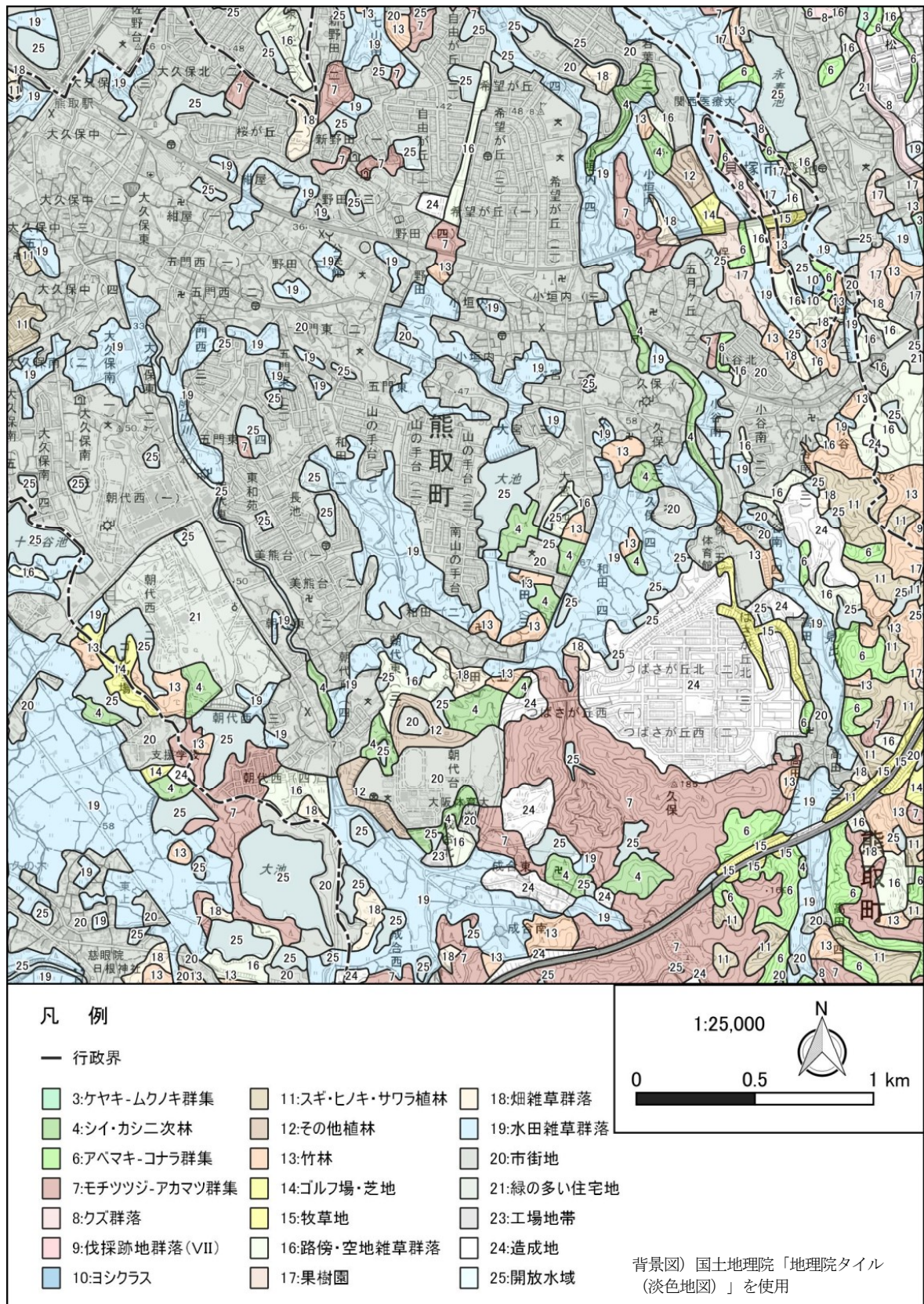
出典) 「第6回自然環境保全基礎調査 植生調査」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText 令和5年11月閲覧)をもとに加工して作成

図4. 3-6 植生の状況(広域)



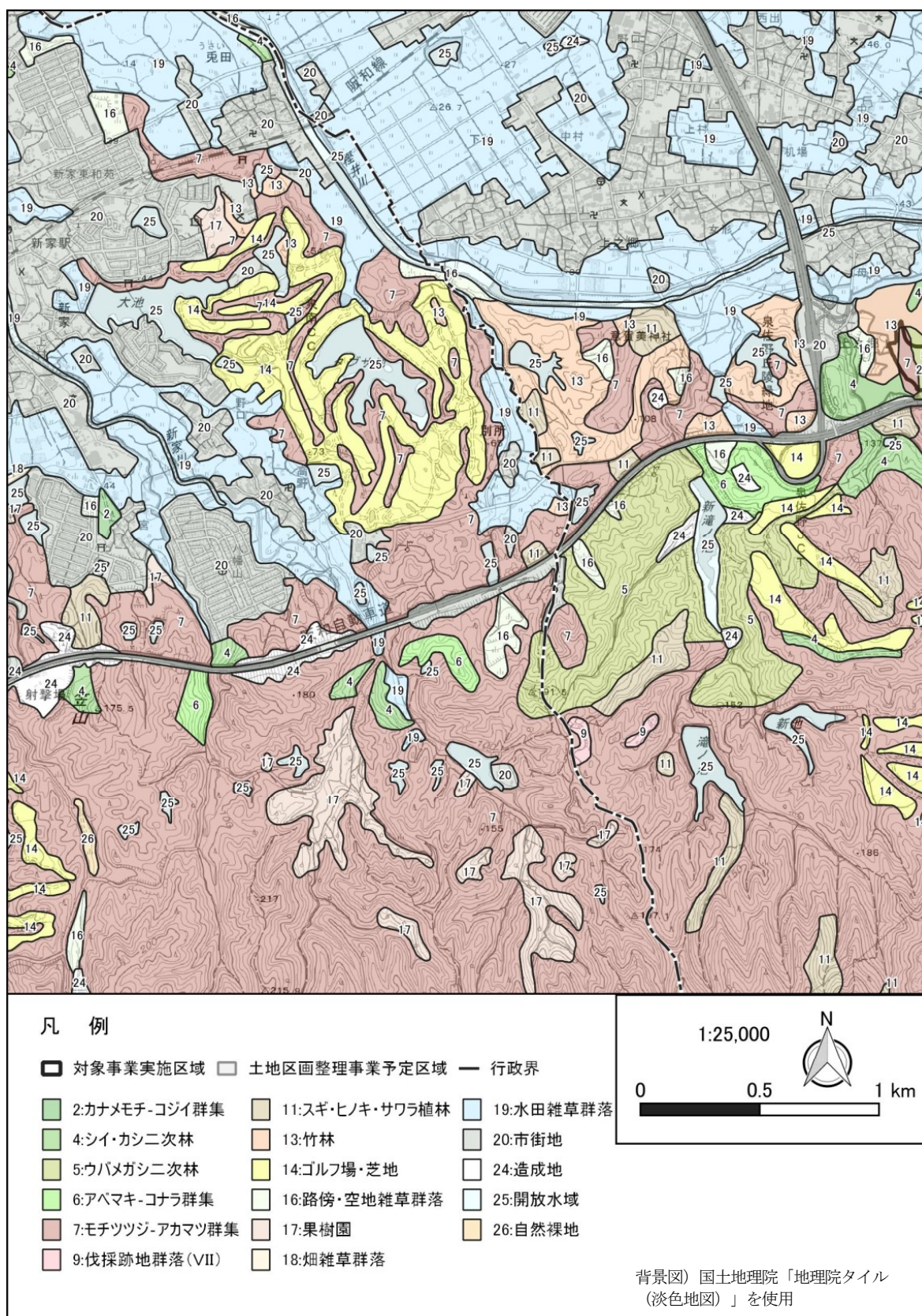
出典) 「第6回自然環境保全基礎調査 植生調査」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText 令和5年11月閲覧) をもとに加工して作成

図4. 3-7 (1) 植生の状況(詳細-北西)



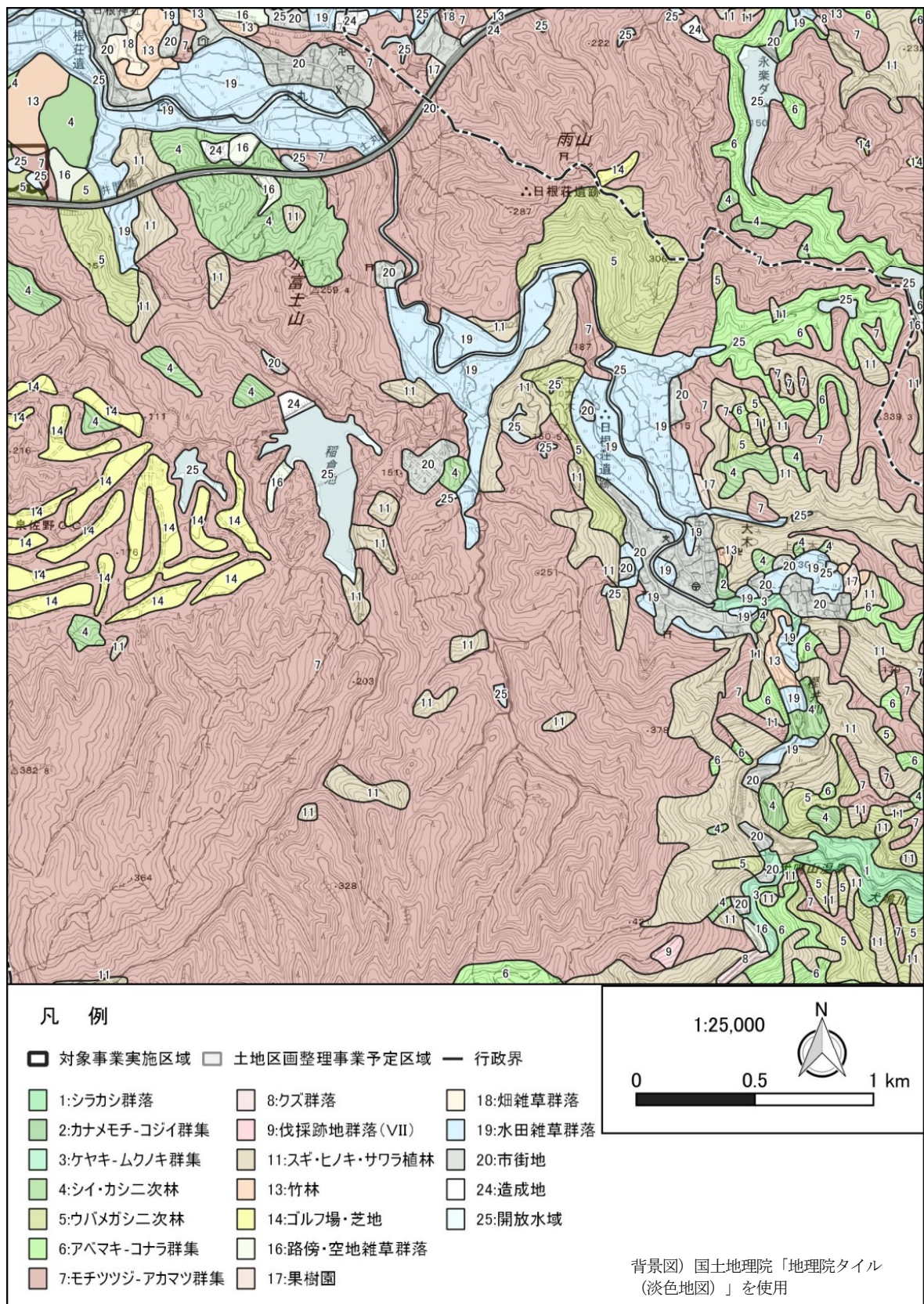
出典) 「第6回自然環境保全基礎調査 植生調査」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText 令和5年11月閲覧) をもとに加工して作成

図4. 3-7(2) 植生の状況(詳細-北東)



出典) 「第6回自然環境保全基礎調査 植生調査」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText 令和5年11月閲覧)をもとに加工して作成

図4. 3-7(3) 植生の状況(詳細-南西)



出典) 「第6回自然環境保全基礎調査 植生調査」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText 令和5年11月閲覧)をもとに加工して作成

図4. 3-7(4) 植生の状況(詳細-南東)

(3) 淡水生物

対象事業実施区域を含む泉南地域に生息する淡水生物の状況は以下のとおりである。

魚類は、対象事業実施区域周辺の樫井川全域において、フナ属、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ及びヨシノボリ属、下流域において、コイ、ミナミメダカ、タイリクバラタナゴ及びゴクラクハゼ、上流域においてタカハヤ、ドンコ及びツチフキ等が確認されている。

底生生物は、対象事業実施区域周辺の樫井川等において、貝類はカワニナ及びサカマキガイ、甲殻類はヒラテテナガエビ及びアメリカザリガニ、水生昆虫はカゲロウ目、トンボ目、カワゲラ目、トビケラ目、ハエ目及びコウチュウ目等が確認されている。

以上のように、対象事業実施区域周辺を流下する樫井川は、感潮域を含まない下流域から中流域は河床勾配が 1/1000 から 1/350 程度、河床材料がシルト質砂、砂が中心であり、上流域は河床勾配が 1/350 から 1/50 程度、河床材料が岩や礫が中心であり、全体として比較的緩やかな流れに生息する淡水生物が確認されている。

出典) 「自然環境保全基礎調査動物分布調査 日本の動物分布図集」(環境省自然環境局生物多様性センター平成22年)
「大阪市立自然史博物館 自然の情報コーナー」(大阪市立自然史博物館ホームページ <http://www2.mus-nh.city.osaka.jp/learning/G2e.html> 令和5年11月閲覧)
「河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)」(国土交通省ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/index.html> 令和5年11月閲覧)
「樫井川水系河川整備計画」(大阪府 平成28年)より作成

(4) 注目すべき種

注目すべき種の確認状況は、表4. 3-4及び表4. 3-5に示すとおりである。

注目すべき種の整理に当たっては、「大阪府における保護上重要な野生生物」(大阪府 平成12年)において泉南地域を標本記録地としている注目すべき種について整理を行った。

対象事業実施区域を含む泉南地域の既往調査では、里山環境やシイやマツを主とした山林環境において、哺乳類のアナグマ(準絶滅危惧)、キツネ(絶滅危惧Ⅰ類)、鳥類のイカルチドリ(絶滅危惧Ⅱ類)、センダイムシクイ(準絶滅危惧)、両生類のヤマトサンショウウオ(絶滅危惧Ⅰ類)、昆虫類のヒメサナエ(準絶滅危惧)、植物のコバノヒルムシロ(絶滅危惧Ⅰ類)等が確認されている。また、樫井川において、魚類のツチフキ(絶滅危惧Ⅰ類)、ミナミメダカ(絶滅危惧Ⅱ類)等が確認されている。

表4. 3-4 泉南地域における注目すべき種（動物）

カテゴリ	分類	種数	種名
絶滅	昆虫類	3種	ヤマトマダラバッタ、オオウラギンヒョウモン、ヒメヒカゲ
絶滅危惧I類	哺乳類	1種	キツネ
	鳥類	6種	クマタカ、ウズラ、ハチクマ、チュウヒ、コアジサシ、サシバ
	爬虫類	1種	タワヤモリ
	両生類	2種	ダルマガエル、ヤマトサンショウウオ
	昆虫類	7種	オオキトンボ、コバンムシ、ツマグロキチョウ、ウラナミジャノメ、コバネアオイトトンボ、ウラギンスジヒョウモン、シルビアシジミ
	陸産貝類	7種	オオギセル、カギヒダギセル、カスガコギセル、ギューリキギセル、コシボソギセル、スジキビ、クロオビオトメマイマイ
	淡水産魚類	3種	トビハゼ、カワバタモロコ、ツチフキ
	淡水産貝類	2種	マメタニシ、モノアラガイ
絶滅危惧II類	哺乳類	1種	スミスネズミ
	鳥類	24種	ヨシゴイ、ミゾゴイ、ツミ、タマシギ、イカルチドリ、シロチドリ、トラフズク、コミミズク、アオバズク、ヨタカ、サンショウクイ、メダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、キョウジョシギ、ヒバリシギ、ウズラシギ、オバシギ、ツルシギ、アオアシシギ、タカブシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、コサメビタキ
	爬虫類	1種	ヒバカリ
	両生類	2種	オオサンショウウオ、ニホンヒキガエル
	昆虫類	11種	ミヤマサナエ、ネアカヨシヤンマ、エサキアメンボ、ウラナミアカシジミ、ナニワトンボ、テングオオヨコバイ、クロカナブン、セミスジニセリングカミキリ、ウラギンヒョウモン、クモガタヒョウモン、クロヒカゲモドキ
	陸産貝類	3種	イノウエヤマトガイ、ウスイロシタラガイ、ケハダヒロウドマイマイ
	淡水産魚類	6種	ヌマムツ、ドジョウ、アカザ、ミナメダカ、イトモロコ、クロヨシノボリ
	淡水産貝類	1種	オオタニシ
準絶滅危惧	哺乳類	2種	アナグマ、カヤネズミ
	鳥類	39種	オオタカ、コチョウゲンボウ、クイナ、コチドリ、フクロウ、ヤマセミ、オオアカゲラ、トラツグミ、ゴジュウカラ、オオメダイチドリ、タゲリ、トウネン、オジロトウネン、サルハマシギ、コオバシギ、ミユビシギ、エリマキシギ、キリアイ、アカアシシギ、コアオアシシギ、クサシギ、キアシシギ、イソシギ、オグロシギ、チュウシャクシギ、タシギ、オオジシギ、ズグロカモメ、ツツドリ、カワガラス、オオヨシキリ、センダイムシクイ、セッカ、ホオアカ、ノスリ、ケリ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、オオジュリン
	爬虫類	3種	タカチホヘビ、シロマダラ、ニホンイシガメ
	両生類	2種	アカハライモリ、シュレーゲルアオガエル
	昆虫類	26種	マルタンヤンマ、イナゴモドキ、ムカシトンボ、アオサナエ、ヒメサナエ、オオルリボシヤンマ、コバネコロギス、ムツセモンササキリモドキ、ヒトコブササキリモドキ、エゾゼミ、ヤスマツアメンボ、イズミメクラチビゴミムシ、オニクワガタ、セダカテントウダマシ、ジュウサンホシテントウ、キュウシュウツチハンミョウ、セダカコブヤハズカミキリ、ヒゲナガヒメリカミキリ、アオバセセリ、ヒメキマダラセセリ、ミドリシジミ、オオウラギンスジヒョウモン、スミナガシ、オオムラサキ、オオシモフリスズメ、ブナアオシャチホコ
	陸産貝類	1種	アズキガイ
	淡水産魚類	4種	ウキゴリ、ギギ、タモロコ、シマドジョウ
	淡水産貝類	1種	アサギガイ
情報不足	哺乳類	1種	ニホンジネズミ
	鳥類	1種	オオコノハズク
	陸産貝類	1種	ヒメタマゴマイマイ
	淡水産魚類	2種	シマヨシノボリ、ボウズハゼ

備考）種名及びカテゴリは「大阪府レッドリスト2014」（平成26年 大阪府）に準拠した。

表4. 3-5 泉南地域における注目すべき種（植物）

カテゴリ	種数	種名
絶滅	38種	タキミシダ、ヒトツバシケシダ、アカウキクサ、ヒメタデ、タチスズシロソウ、ハマボウ、ヒメビシ、ハルリンドウ、スナビキソウ、ヤマジソ、ナミキソウ、ウンラン、ホソバヒメトラノオ、ハマクワガタ、フクド、ヒメシオン、モリアザミ、カセンソウ、ホソバニガナ、ミヤコアザミ、ヒメヒゴタイ、ネコノシタ、クロイヌノヒゲ、ケカモノハシ、ビロードテンツキ、アゼテンツキ、トラノハナヒゲ、シズイ、カガシラ、シンジュガヤ、ムカゴソウ、トンボソウ、アキノハハコグサ、セキシウモ、カワツルモ、コウライブシ、ヒゲシバ、ヤマジスゲ
絶滅危惧I類	72種	アズマツメクサ、ミズニラ、カラクサシダ、ミドリワラビ、デンジソウ、サンショウモ、サイコクヌカボ、ハママツナ、ヤマシャクヤク、トモエソウ、コバナノワレモコウ、ハマビシ、ヒナノカンザシ、アカネスミレ、オグラノフサモ、タチモ、ミシマサイコ、ハマボウフウ、イブキボウフウ、ハマサジ、フナバラソウ、ゴマクサ、シオガマギク、ヒキヨモギ、ヒメタヌキモ、オグルマ、キクアザミ、マルバオモダカ、スブタ、トチカガミ、コバナヒルムシロ、イトモ、オオトリゲモ、キバナチゴユリ、ヒメユリ、ヒオウギ、ホシクサ、ヒナザサ、ナガミノオニシバ、ミクリ、オオミクリ、ヒメミクリ、アンペライ、イガクサ、イセウキヤガラ、ヒナラン、ムギラン、クマガイソウ、ムカゴトンボ、ジガバチソウ、フウラン、ツレサギソウ、オオヤマサギソウ、コバナトンボソウ、トキソウ、ヤマトキソウ、クモラン、マキエハギ、ヨツバハギ、タカトウダイ、ヒメノダケ、カワラボウフウ、ガガブタ、サワシロギク、ヤナギスブタ、ノハナショウブ、ノグサ、ミズトンボ、タニジャコウソウ、フサモ、ヤマヒョウタンボク、ハバヤマボクチ
絶滅危惧II類	48種	イトトリゲモ、ヒロハハナヤスリ、ホウビシダ、ルイヨウボタン、イシモチソウ、ユキヤナギ、タヌキマメ、ツルフジバカマ、コウヤグミ、イヌセンブリ、スズサイコ、オオキヌタソウ、コムラサキ、ハマゴウ、ナツノタムラソウ、ハンカイソウ、ヌマカゼクサ、ウンヌケモドキ、ミノボロ、スズメノコビエ、ヤマトミクリ、ナガエミクリ、コウボウムギ、ヒトモトススキ、ナガバノウナギツカミ、コウホネ、ミヤマトベラ、カツラギグミ、ヒメナミキ、ヤマホオズキ、クワガタソウ、ウスバヒョウタンボク、ホンゴウソウ、セイタカハリイ、コシンジュガヤ、マヤラン、ミズタガラシ、ヤマタツナミソウ、ゲンカイモエギスゲ、ミヤコミズ、シロバナハンショウヅル、ウメバチソウ、カキノハグサ、タチカモメヅル、ハシリドコロ、サツマスゲ、ギンラン、キンラン
準絶滅危惧	51種	カワラケツメイ、アオネカズラ、ホソバハマアカザ、ユキワリイチゲ、タカネハンショウヅル、メギ、ハンゲショウ、ミズオトギリ、モウセンゴケ、コモウセンゴケ、ツメレンゲ、バクチノキ、ツゲ、コショウノキ、エイザンスミレ、ヒナスミレ、ケヤマウコギ、ムカゴニンジン、トキワガキ、サカキカズラ、ヒロハヒルガオ、ヤマジオウ、ミヤマナミキ、オオヒナノウスツボ、オオヒキヨモギ、ミズオオバコ、ヤマカシユウ、ウキシバ、ヤガミスゲ、シオクグ、フサナキリスゲ、コマツカサススキ、ムヨウラン、コギンギシ、コイヌガラシ、バッコヤナギ、アサダ、キミズ、ミソナオシ、ハマエンドウ、クスドイゲ、ヒメミソハギ、カワヂシャ、イヌタヌキモ、ウラギク、セトウチホトトギス、アイアシ、コガマ、オオナキリスゲ、オオシロガヤツリ、エビネ
情報不足	6種	ホソバウマノスズクサ、ヤマブドウ、トリゲモ、ノシラン、カキツバタ、シロガヤツリ

備考）種名及びカテゴリは「大阪府レッドリスト2014」（平成26年 大阪府）に準拠した。

(5) 注目すべき生態系

注目すべき生態系は、表4. 3-6及び図4. 3-8に示すとおりである。

対象事業実施区域周辺は、「大阪府レッドリスト2014」（平成26年 大阪府）において希少な野生動植物が生息・生育し、種の多様性が高い地域である生物多様性ホットスポットとして「泉州ため池群」が選定されている。

表4. 3-6 対象事業実施区域周辺における注目すべき生態系

ランク	名称	所在地
B	泉州ため池群	和泉市・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・泉南市

出典) 「大阪府レッドリスト2014」 (大阪府 平成26年) より作成

4. 3. 5 人と自然との触れ合いの活動の場

対象事業実施区域周辺における主な人と自然との触れ合いの活動の場の状況は、表4. 3-7及び図4. 3-9に示すとおりである。

対象事業実施区域周辺には、大井関公園、泉佐野丘陵緑地及びハイキングルートなどが存在する。

表4. 3-7 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

名称	市町	概要
大井関公園	泉佐野市	さくら、散策等、日根神社及び日根荘遺跡を含む
泉佐野丘陵緑地	泉佐野市	散策、里山体験等
奥山雨山自然公園	熊取町	さくら、紅葉、ハイキング等
永楽ゆめの森公園	熊取町	散策等
野外活動ふれあい広場	熊取町	ハイキング、キャンプ等
長池オアシス	熊取町	はす、ウォーキング等
泉南市立青少年の森	泉南市	キャンプ等
泉州地域近畿自然歩道	泉佐野市、泉南市、熊取町	自然歩道
ハイキングルート	泉佐野市、泉南市、熊取町	ハイキング、登山

出典) 「泉佐野市観光サイト」(泉佐野市観光協会ホームページ <https://www.kankou-izumisano.jp/> 令和5年11月閲覧)

「くまとり観光マップ」(くまとりにぎわい観光協会ホームページ <https://kumatori-kankou.com/tourism/> 令和5年11月閲覧)

「恋するせんなん」(泉南市観光協会ホームページ <https://welcome-sennan.com/> 令和5年11月閲覧)

「泉州地域近畿自然歩道マップ」(大阪府ホームページ <https://www.pref.osaka.lg.jp/senshunm/kankoubutu/kinkishizenhodou.html> 令和5年11月閲覧)より作成

4. 3. 6 自然景観

対象事業実施区域周辺における自然景観については、表4. 3-8及び図4. 3-10に示すとおりである。

対象事業実施区域周辺における自然景観資源として、国定公園に指定される金剛生駒紀泉国定公園、大阪府立公園に指定される泉佐野丘陵緑地、大阪みどりの百選に指定される大井関公園及び稲倉池、その他にも水源の森百選にも併せて選ばれている永楽ダムと桜の道が存在する。

表4. 3-8 自然景観資源の状況

資源名	市町	分類
金剛生駒紀泉国定公園	泉佐野市、泉南市	国定公園
泉佐野丘陵緑地	泉佐野市	大阪府立公園
大井関公園	泉佐野市	大阪みどりの百選
稲倉池	泉佐野市	大阪みどりの百選
永楽ダムと桜の道	熊取町	大阪みどりの百選

出典) 「金剛生駒紀泉国定公園」 (大阪府ホームページ <https://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/g07-kongo.html> 令和5年11月閲覧)

「公園紹介」 (大阪府ホームページ <https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html> 令和5年11月閲覧)

「大阪みどりの百選」 (大阪府ホームページ <https://www.pref.osaka.lg.jp/midorikikaku/toshiryokka/hyakusenn.html> 令和5年11月閲覧) より作成

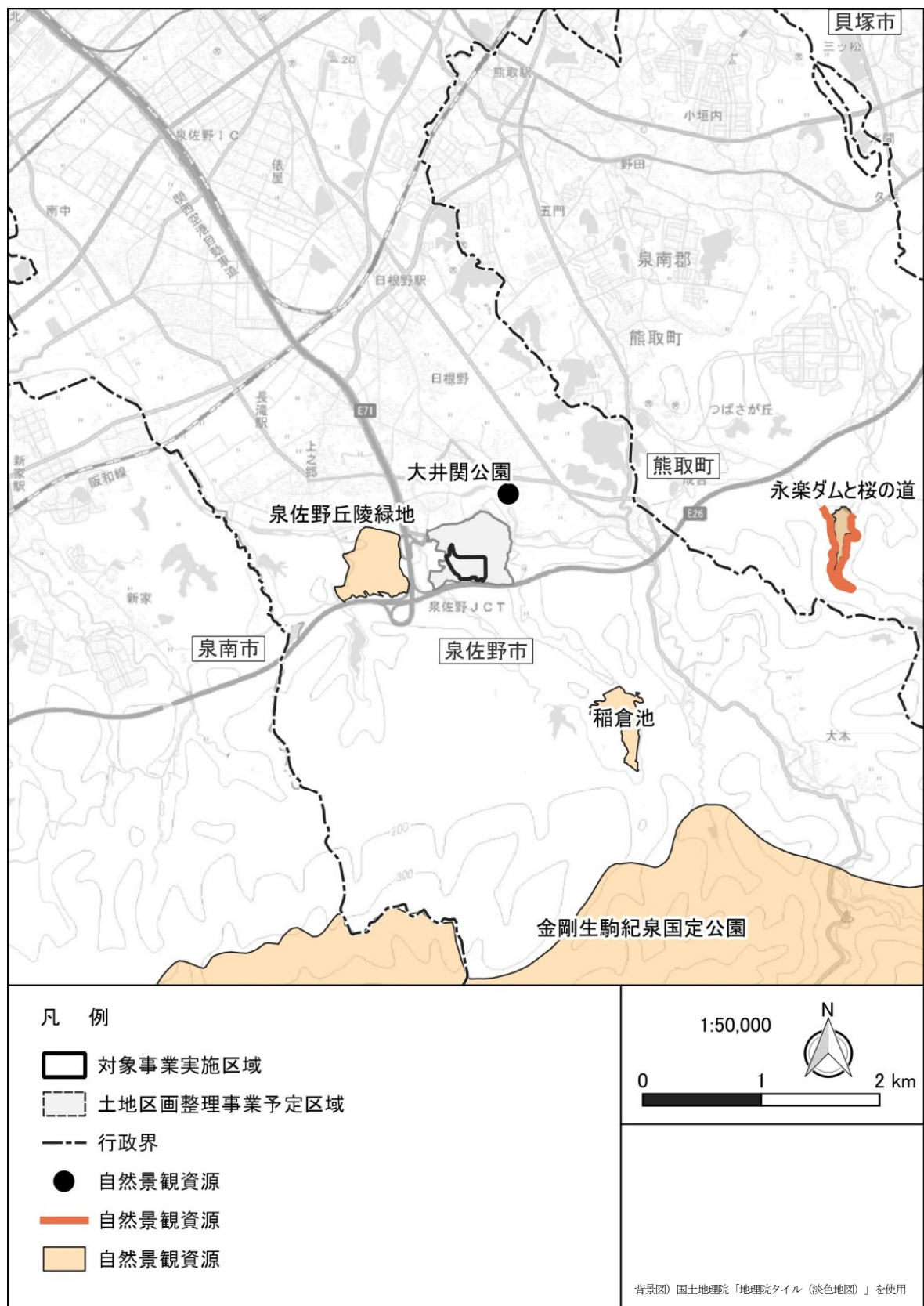


図4. 3-10 自然景観資源